

高月城跡

【マップE2】

大石系図に長禄2年（1458）に大石頭重が高月城を築いて移り住んだという記述がある。北に舌状に張り出した地形と、それを取り巻くように流れる秋川を利用して築城し、鎌倉道と秋川渡河地点を抑えている。本丸に直接通じる南の尾根には、折りを入れた空堀と馬出による高月城独特の防御法が見られる。



本丸は最高地点にあり
圧倒的な広さがある



高月城跡



通路の横に土塁状の高みが残る



防御上重要な空堀は藪化している



秋川河畔から見る高月城跡

根小屋城跡

【マップD2】



ハイキングコースが
通る南曲輪



東尾根の虎口は遺構がよく残っている



点線の先は大変危険です。
立入はご遠慮ください。

根小屋城跡

根小屋城は戸吹城や二城城とも呼ばれ、その築城時期などは不明だが、大石氏が滝山城の支城として築いたものと考えられている。「根小屋」とは城の麓に設けられた家臣団の居住集落を指し、古甲州道の秋川渡河地点の番城として家臣の小屋が城の麓に設けられていたのであろう。急峻な崖の細尾根と曲輪で構成された城跡は大変危険なため、城跡の見学はハイキングコースの範囲までとされている。



根小屋城への道を示す案内板「かたらいの路秋川丘陵コース」というハイキングコースに従って進む